

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-11	中学校	社会	社会（歴史的分野）	1－3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	歴史 116-72	中学社会 歴史的分野		

1. 編修の基本方針

心が動く、
その先へ。

生徒たちは知らないことや説明のつかないことに会おうと何かな、なぜだろう、と心が動きます。それが学びの始まりです。その動きを受け止め、道筋を示し、その先へといざなうことが、私たちの願いです。

私たちの教科書は、生徒たちを**新しい時代を担う主権者**へと育てるために、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く力をつけ、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条の教育の目標を達成し、その基本理念を実現するために、以下の三つを基本方針として、編修にあたりました。

基本方針

1

生徒が主役の
楽しい学び

単元を貫く問いをつかみ、
主体的・対話的で深い学びへと
導きます。



基本方針

2

社会科授業を
手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が
確実に身につく、教師は指導と評価の
ポイントが一目でつかめます。



基本方針

3

よりよい社会と
豊かな人生の創造へ

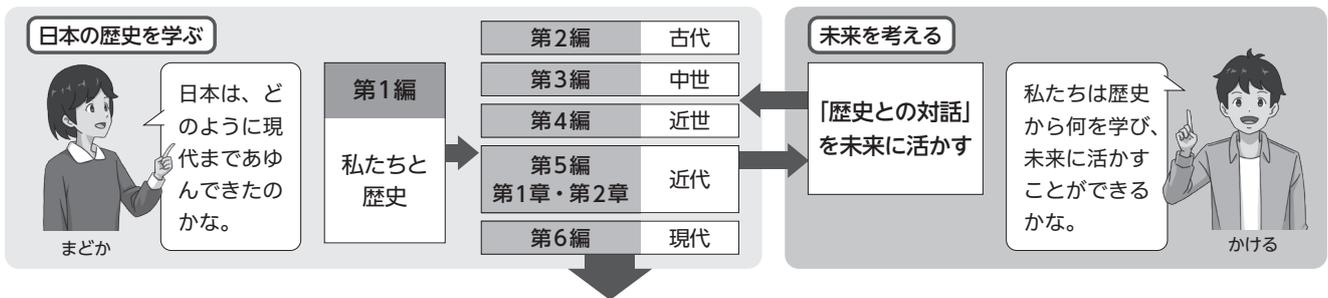
持続可能な社会を実現し、
豊かな人生を切り拓くための生きて
働く力を鍛えます。



生徒が教科書全体での学習を通して「何ができるようになるか」を見通すことのできる構成にして、学びの成果や自己の成長を振り返ることができるように編修しています。

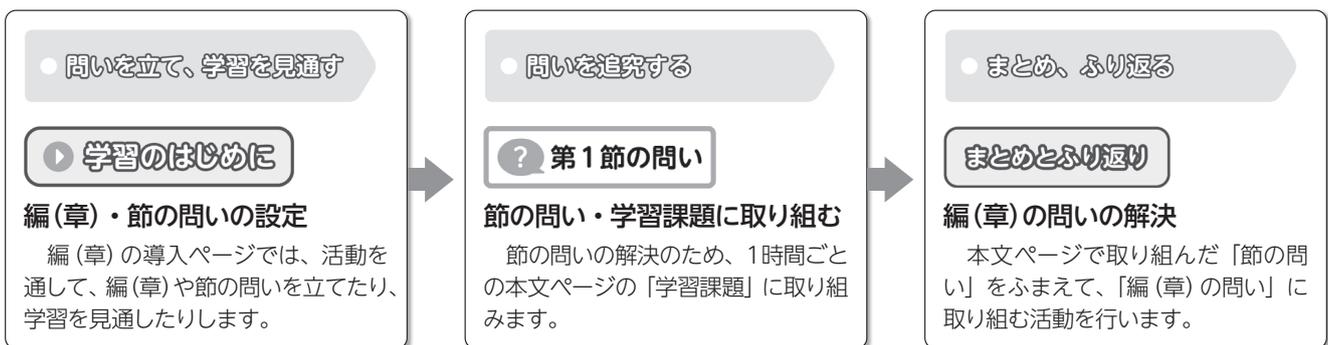
■教科書全体の構成

導入単元である第1編で、歴史の学習の基盤となる年代の表し方や時代区分の意味や意義のほか、「歴史的な見方・考え方」を学び、これを働かせて第2～6編で各時代の特色をとらえていきます。そして、巻末の「『歴史との対話』を未来に活かす」において、よりよい未来の創造のために何が大切か、生徒が歴史をふまえて構想することができる構成にしました。



●生徒が問いを立て、学習の見通しと振り返りができる単元構成（第2～6編）

「どのように学ぶのか」を明確にするため、編(章)・節の単元を貫く問いを構造的に配置する構成にしています。各編(章)の学習では、編(章)の問いを追究するため、いくつかの節の問いを解決していき、「まとめとふり返し」ページで編(章)の問いを改めて考えるという構造にしており、歴史的分野の資質・能力の育成に向けて、指導と評価の一体化を実現します。



●各編(章)の学習では、協働的な学びに関連した箇所に「学び合い」マークを付し、問いを充実させ、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるような構成となっています。

■教科書 QR コンテンツ —ICT（情報通信技術）を活用した学習—

●個別最適な学びを実現するために

各自の学習進度やペースに合わせた様々な教材を用意しています。コンテンツがある場所に、タブレットマークを設けて、「関連資料」「リンク」といった文字を入れて、コンテンツの種類がわかるようにしました。

●主なコンテンツ

・イントロダクションムービー ～学習を見通して授業への意欲を高める～

第2～6編の節の最初のページに、「節の問い」の解決に見通しをもつことができる動画を用意しました。問いを解決するうえで大切な視点を盛り込んだ投げかけをして、生徒の主体的な学習を支援します。

・ポートフォリオ ～単元のまとめりで振り返りができる～

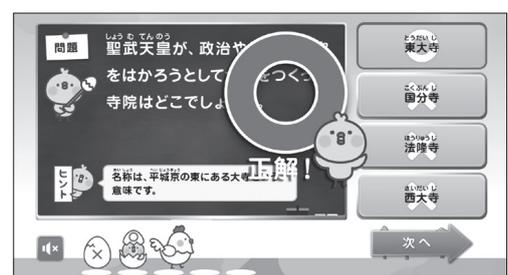
編(章)や節の学習成果を記録するワークシートで、編(章)や節の問いに対する最初の予想と、学習後に自分の考えがどう変わったかを振り返ることができます。主体的に学習に取り組む態度の評価に対応しています。

・確認小テスト ～毎時間の知識の定着のために～

本文ページの1見開きごとの知識を整理するクイズです。



▶イントロダクションムービー

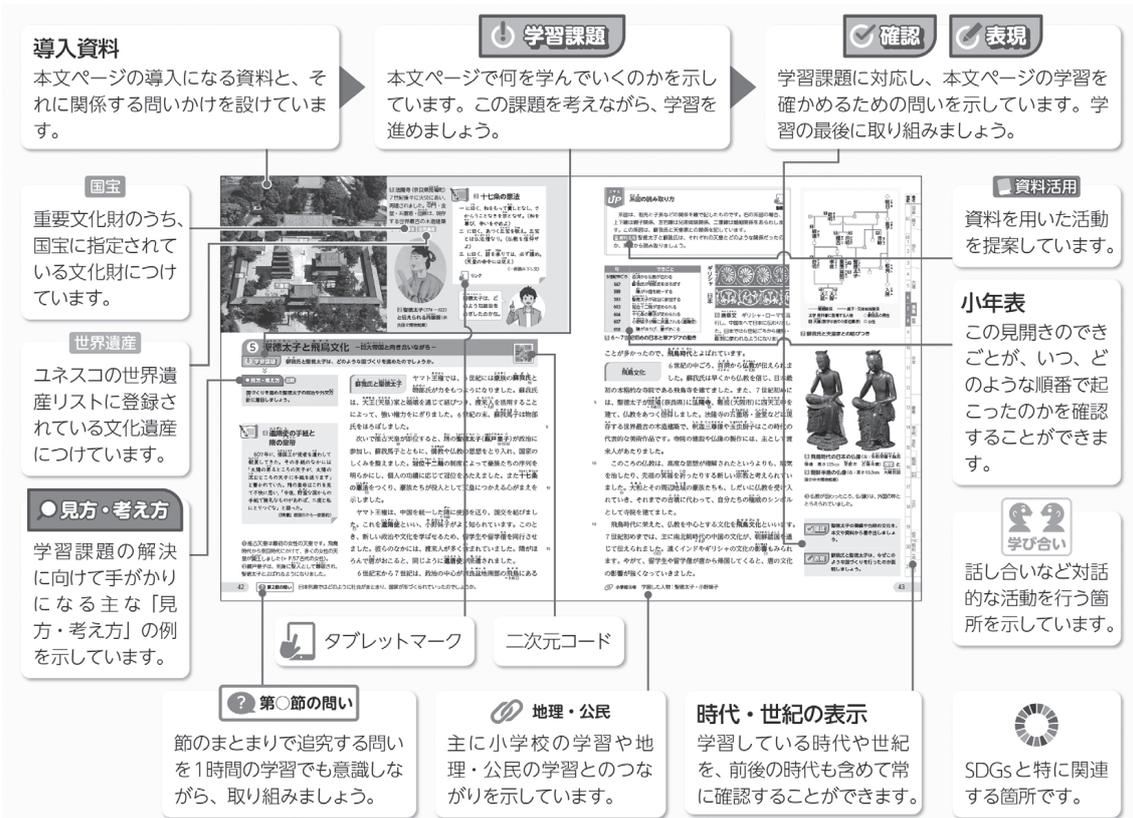


▶確認小テスト

社会科授業を手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につく、教師は指導と評価のポイントが一目でつかめます。

- **基礎・基本をおさえた本文ページは、1授業時間を原則見開き2ページとし、この見開きで「何を学ぶのか」を「学習課題」で明確に示し、「学習課題」と対応した「確認・表現」コーナーで、本文ページの学習を確かめるための問いを設けています。**これにより、生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させるとともに、教師は授業計画が立てやすく、毎時間の学習指導の改善に役立てることができるようにしています。
- **深い学びを実現するために、すべての本文ページで「見方・考え方」を働かせて学ぶことができる構成です。**



よりよい社会と豊かな人生の創造へ

持続可能な社会を実現し、豊かな人生を切り拓くための生きて働く力を鍛えます。

持続可能な社会の形成に向け、社会の課題を自分ごととして捉え、解決する態度を培えるよう編修しました。



▲P.292-293 テーマ別さくいん

●「歴史との対話」を未来に活かす (P.292-299)

現代的な諸課題について考える際に活用できるテーマ別さくいんを設けたほか、災害の歴史、政治参加の歴史、世界平和への取り組みについて具体的に考えることができる課題学習を示しました。

▲P.298-299 世界平和への取り組みに学ぶ

公民的分野の学習に向けて

(政治学) 日本国憲法の三つの基本原則の一つである平和主義について学びましょう。

(国際学) 世界平和と人類の福祉の増大のために、世界ではどのようなしくみがあるのか、日本はどのような役割を果たしているかなどを学びましょう。

公民的分野の学習へ向けた課題意識をもつことができるようにしています。

各時代の教材である、「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」などのコラムのほか、「チャレンジ歴史」「歴史を掘り下げる」などの特設ページにおいても、よりよい未来のためにヒントとなる教材を豊富に紹介しています (P.4-5に一覧を記載)。



2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標を達成するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭・巻末	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史とは何か、歴史を学ぶことでどのようなことがわかるのか、受け継いだ「歴史の遺産」をよりよい未来のためにどのように活用していくのかを主題とした、新しい時代を担っていく中学生に宛てた文章を、巻頭言「歴史を学ぶにあたって」、巻末言「歴史を学んで」に記し、学習意欲を高めるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育むことができるよう配慮しました。(第1号～第5号) 	巻頭1～2、 P.300
第1編 私たちと歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の学習を振り返る活動を通して、「歴史的な見方・考え方」を働かせた歴史の学び方を解説するとともに、年代の表し方や時代区分の意味や意義、年表の読み取り方などの歴史学習の基盤となる知識・技能を習得できるようにしました。(第1号) ●身近な地域の歴史の調べ方・学び方・発表の仕方を具体的に学ぶことができるようにしました。(第1号) 	P.6～17
第2編 古代までの日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●古代ギリシャ・ローマの民主政や共和政を学び、民主政治の来歴を理解できるようにしました。(第3号) ●日本の神話とそれに関わる民俗芸能のほか、世界の神話との関連を取り上げ、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育めるよう配慮しました。(第5号) 	P.18～63
第3編 中世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●産業の発達を背景に、民衆の成長、商工業を担う女性の姿、村や都市の自治を取り上げ、男女の平等を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を育むことができるよう配慮しました。(第3号) ●祇園祭や盆踊りなど、現代に伝わる行事が生まれたことを理解し、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育めるよう配慮しました。(第5号) 	P.64～103
第4編 近世の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の歴史の背景となる世界の歴史を、単元の導入の地図で概観するとともに、一体化する世界のように叙述して、幅広い知識を身につけることができるようにしました。(第1号) ●今に伝わる琉球とアイヌ民族の独自の文化はどのように生まれ、どのような特色をもつのかを解説し、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心情を育めるよう配慮しました。(第1号、第5号) 	P.104～153
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	<ul style="list-style-type: none"> ●近代化のために活躍した人物のエピソードを取り上げ、社会の形成に主体的に参画することに寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第3号) ●足尾鉍毒事件を例に、国内の産業の発展と、環境破壊の問題を結びつけて考えさせ、環境の保全に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第4号) 	P.154～213
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の参政権獲得や差別からの解放を求める運動について取り上げ、男女の平等や人権尊重の大切さを学ぶことができるよう配慮しました。(第3号) ●二度の世界大戦を通じて、戦争の悲惨さや命の尊さを学び、国際平和について考えることができるよう配慮しました。(第5号) 	P.214～257
第6編 現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●戦後、日本が国際社会に復帰し、高度経済成長をとげていく過程の叙述を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しました。(第2号) ●近隣諸国との間で解決が求められる領土問題について、歴史的な経緯と現状を解説し、我が国と郷土を愛する心情を育めるよう配慮しました。(第5号) ●歴史学習の終わりに、21世紀の今、日本は世界のなかで重要な役割を担っていることを理解できるようにするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮しました。(第5号) 	P.258～291
「歴史との対話」 を未来に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ●現代の諸課題について、それが起こった歴史的な背景や課題に対する先人たちの取り組みを知り、よりよい未来をつくるために何が大切かを考えられるよう配慮しました。(第1号～第5号) 	P.292～299

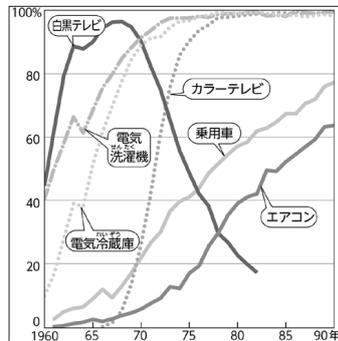
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 共生社会の実現に向けた配慮

—すべての生徒にとって使いやすい紙面—

●カラーユニバーサルデザインに配慮した教科書

特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点から、グラフなどの情報を負担なく読み取ることができるよう工夫しています。



▶P.276 家庭電化製品と自動車の普及率

●ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、だれにでも見やすく読みやすい「ユニバーサルデザインフォント (UD フォント)」を使用しています。本文以外の箇所にも、適切な UD フォントを使用しています。

●ルビ (ふりがな)

小学校 6 年生以上で学習する漢字の初出箇所と、すべての重要語句に、ルビを付けました。

(2) 現代的な諸課題への対応

●カリキュラム・マネジメントへの支援

主に小学校、地理や公民の学習とのつながりを示した連携コーナーを設けて、生徒が小学校で学んだ事項や地理や公民の学習に関わる事項を確認、活用することができるようにしています。(本文右ページ脚注)

●道徳教育と関連する教材

道徳の四つの視点のうち、Cの「主として集団や社会との関わりに関すること」のなかでも「公正、公平、社会正義」「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」「国際理解、国際貢献」については各所で取り扱いました。(P.12-17、P.284-285、P.298-299 など)

●SDGs を自分ごととして考えることができる教材

現在と未来の日本や世界の在り方について考察、構想、表現するにあたり、持続可能な開発目標 (SDGs) にも関わる現代的な課題を考えることができる教材を多数掲載しています。(P.4-5、P.284-285、P.288-289、P.292-299 など)

●基本的人権に関わる教材

現代に続く課題の歴史的背景から今日までの取り組みを学ぶことができる教材を掲載し、自らも関わる課題として解決に取り組むことができる教材を多数掲載しています。

(例) 身分と職業が決められた社会 (P.124-125)、琉球王

国から沖縄県へ、北海道とアイヌの人々 (P.186-187)、社会運動の広がり (P.228-229)、水平社の創立とさまざまな人権運動 (P.234-235)、在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン (P.275)、解決をせまられる国内課題 (P.285)、各時代の女性 (P.4 に一覧を記載) など



▶P.228 近代の女性 女性の政治参加を求めて

●環境・資源・エネルギーに関わる教材

持続可能な社会への取り組みも視野に入れて、地域社会から国際社会の課題について、自らも関わる課題として取り組むことができるように掲載しています。

(例) 持続可能な社会 (P.4-5、P.284-285)、都市に住む人々のリサイクル (P.141)、地域の環境の歴史を調べよう (P.288-289) など

●平和・命の尊さに関わる教材

個人の尊厳の基盤となる平和に関する教材は、世界平和の実現に向けた先人の取り組みを、自分自身に関わる切実な課題として考えることができるようにしています。

(例) 二度の世界大戦と日本 (P.214-257)、日本までつながれた「命のビザ」 (P.245)、沖縄の基地問題 (P.274)、世界平和への取り組みに学ぶ (P.298-299) など

●防災・減災に関わる教材

近年、多発する自然災害に対して、防災・減災のほか、復興に向けた先人の取り組みを掲載しました。

(例) 天明のきさんと復興 (P.143)、関東大震災 (P.231)、阪神・淡路大震災、東日本大震災、私たちにできること (P.283)、災害の歴史に学ぶ (P.294-295) など

●伝統・文化に関わる教材

各時代の文化のほか、文化の多様性、文化財の保存修理の取り組みなど、幅広い観点から教材を掲載しています。

(例) 日本の神話 (P.51)、文化財を守り伝える仕事 (P.58-59)、今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成 (P.132-133)、近代社会に日本を見つめ直す (P.183) など

●社会の大きな課題に関わる教材

新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻といった、社会に大きな影響を与えたできごとに関わる教材を掲載しています。

新型コロナウイルス感染症 (P.283)、ロシアのジョージアやウクライナへの軍事侵攻 (P.281)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-11	中学校	社会	社会（歴史的分野）	1－3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	歴史 116-72	中学社会 歴史的分野		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

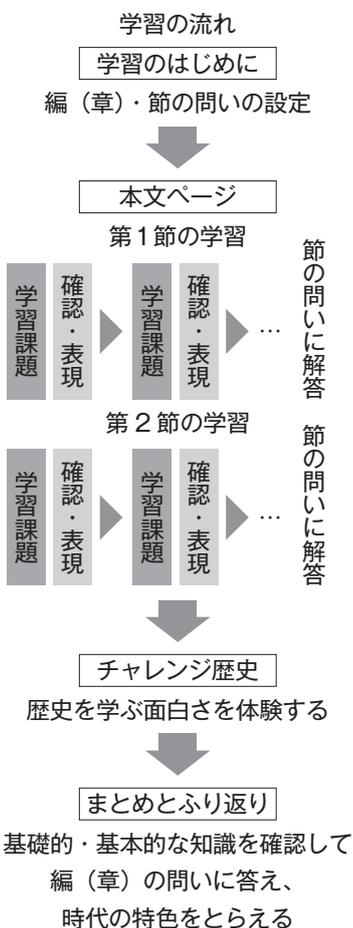
新しい時代を担う主権者を育てる

生徒の確かな成長と人間尊重・平和な社会の実現を願い、我が国の歴史を、広い視野に立って歴史的な見方・考え方を働かせて学び、「**公民としての資質・能力の基礎**」を育成することをめざして編修しました。また、歴史の学びが未来を担う生徒たちの糧となり、自らの将来や、よりよい未来の創造に活かすことができる内容をめざしました。

特色 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための工夫

①見通しをもって学習に取り組める単元構成

下図のように、教科書に構造的に「編（章）の問い」や「節の問い」を設定し、その解答を行うコーナーやページを設けており、生徒が何をどのように学ぶのかの見通しをもって学習に取り組めるようにしています。また、紙面上の二次元コードから弊社 Web サイトにアクセスすることで利用できる「教科書 QR コンテンツ」には、この構造的な問いに沿ったワークシート「ポートフォリオ」を用意しており、指導者にとって内容のまとまりに沿った指導と評価をしやすいうように工夫しています。



学習のはじめに

編（章）の導入ページとして、時代の前後を比較できる資料や、年表と世界地図を掲載して、時代を概観し、編（章）の問いや節の問いを立てたり学習を見通したりします。また、何を学ぶかをとらえるための教材として、その後の学習に取り組みやすくなるように工夫しています。

本文ページ

本文ページでは節の問いの解決に向けて、1時間ごとに「学習課題」、「確認・表現」の問いに取り組みながら学習を進めます。

「節の問いに答えよう」

節の最終見開きには、節の問いに解答するためのヒントとなる「節の問いに答えよう」を脚注に設置しています。

チャレンジ歴史

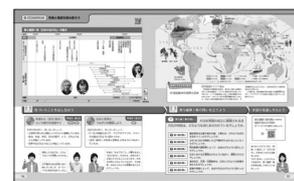
資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験し、発達の段階に応じた多様な資質・能力を育みます。

まとめとふり返し

年表と地図を活用しながら基礎的・基本的な知識の定着を確認するとともに、本文ページで取り組んだ節の問いをふまえて編（章）の問いに答え、時代の特色をとらえる活動を示しています。



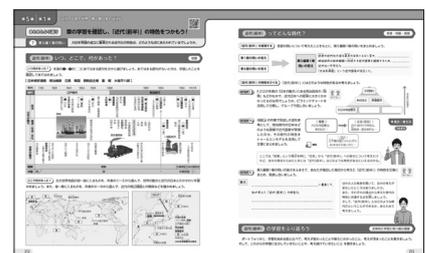
◆P.154-155
江戸と東京を比べよう



◆P.156-157
年表と地図を読み取ろう



◆P.167 節の問いに答えよう

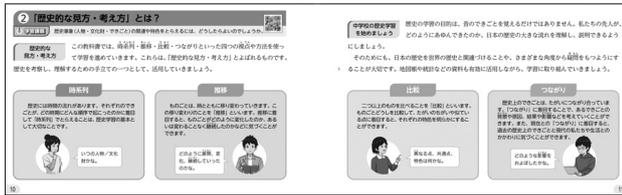


◆P.212-213 まとめとふり返し

②「見方・考え方」を働かせるための教材

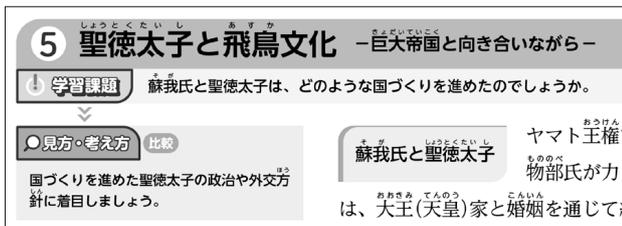
主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、編（章）の学習のなかに学習指導要領で示された「見方・考え方」を働かせる学習活動を教科書内に多数設けています。

まず歴史の学習を始めるにあたり、第1編第1節で「歴史的な見方・考え方」を学びます。そして、各時代の学習の導入、本文、まとめとふり返りページでは、「編（章）の問い」や「節の問い」、「学習課題」の解決に向けての手がかりとなる「見方・考え方」コーナーを設け、各課題の考察の過程で見方・考え方を働かせるようにしています。



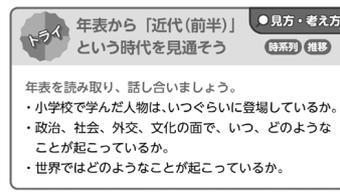
第1編「私たちと歴史」第1節「歴史のとらえ方」では、小学校の歴史学習を振り返りながら「歴史的な見方・考え方」を学ぶことができる構成にしています。

◀P.10-11 「歴史的な見方・考え方」とは？



▶P.42 聖徳太子と飛鳥文化

第2～6編の本文ページでは、「見方・考え方」の例を示し、毎時間働かせられるように編修しています。



▶P.156 年表と地図を読み取る

第2～6編の導入、まとめとふり返りページでは、「編（章）の問い」を立て、時代の特色を追究する活動のなかで、着目すべき「歴史的な見方・考え方」を示し、意識して働かせられるように編修しています。

③協働的な学びを行うための工夫

教科書内に多数設けた学習活動のうち、生徒どうし話し合いなど対話的な活動が効果的に取り入れられるものについては、「学び合い」マークを付しています。



④社会的事象等について調べ、まとめる技能の育成

第1編第2節では、身近な地域の歴史の調べ方・学び方・発表の仕方を掲載するとともに、情報を収集し、読み取り、まとめる際に必要となる技能を解説した「スキルUP」コーナーを随所に設けています。また、年表、歴史地図、系図、絵巻物を読み取る技能については、教科書QRコンテンツに解説動画を用意しました。さらに、考察する際に活用できる多様な思考ツールを随所に示し、教科書QRコンテンツでその使い方を解説して、生徒の主体的・対話的で深い学びを支援しています。

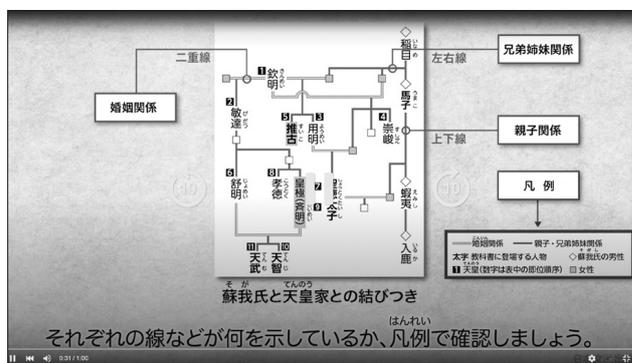
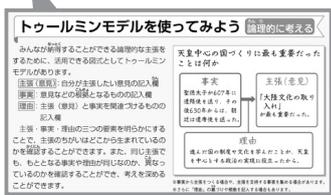


▶P.14-15 課題を設定して、調査しよう



▶P.213 「近代(前半)」の特色をさぐる

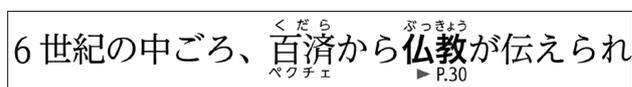
▶教科書QRコンテンツ ツールミンモデルを使ってみよう



▶教科書QRコンテンツ スキルUP「系図の読み取り方」

⑤知識を相互に関連付けて、理解を深めるための工夫

知識が社会のなかで生きて働くものとなるよう、知識を相互に関連付けるため、教科書のなかで関係するページ、資料番号を示す参照ページを随所で示しています。



▶P.43 飛鳥文化

特色 2 よりよい未来の創造に関わる教材の充実

①歴史を学ぶ中学生へのメッセージ

歴史とは何か、歴史を学ぶことでどのようなことがわかるのか、受け継いだ「歴史の遺産」をよりよい未来のためにどのように活用していくのかを主題とした、新しい時代を担っていく中学生に宛てた文章を、巻頭言「歴史を学ぶにあたって」、巻末言「歴史を学んで」(P.300)に記しました。

②現代的な諸課題の歴史的な背景や先人の取り組みに学ぶことの重視

よりよい未来を考えるにあたって、先人がどのような課題にぶつかり、その解決に向けて取り組んできたのかを知ることは大切です。各時代には、それらを学ぶことができるコラムや特設ページを設けました。

- コラム：先人に学ぶ (13 テーマ)、地域に学ぶ (11 テーマ)、人物コラム (18 名)、各時代の女性 (7 テーマ)、歴史+α (17 テーマ) (P.45に一覧を掲載)
- 特設ページ：チャレンジ歴史 (5 テーマ)、歴史を掘り下げる (7 テーマ)、でかけよう! 地域調べ (6 テーマ)

また、歴史学習の最後に、『歴史との対話』を未来に活かす (P.292-299) を設定して、よりよい未来をつくるために何が大切か、現代の課題について、歴史をふまえて考えることができるようにしました。



▲巻頭1-2 歴史を学ぶにあたって



▲P.45 教科書の構成と学び方 各種コラム・特設ページの紹介

特色 3 歴史を学ぶ楽しさを感じることができる教科書

①時代像を具体的にイメージできる図版を豊富に掲載

大判紙面を生かしてビジュアルで、大きく、豊富に文化財を掲載しました。特に各時代の文化史は原則4ページで構成しています。また、楽しく、ポイントをおさえた資料の読み取りができるように、「資料活用コーナー」で活動を提案しています。

②歴史とのつながりを発見する地域調べの充実

第1編第2節や、各時代の「でかけよう! 地域調べ」では、地域の歴史の調べ方・学び方・発表の仕方を具体的に紹介しました。生徒自身が身近な地域の歴史を調べることで、現代に生きる私たちと、日本のみならず世界の歴史とのつながりが発見できることを示しました。

③歴史について考える活動の充実

「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験できるようにしました。古代から近代までの各時代に設定して、資料の読み取りから、選択・判断させる学習まで、生徒の発達の段階に応じた活動を提案しました。



▲P.60-61 でかけよう! 地域調べ「史跡見学に行こう 平城宮跡を歩く—奈良県奈良市—」



▲P.38-39 チャレンジ歴史「考古学に挑戦! よろいを着た人物のなぞを解こう」

本教科書の特徴表

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成をめざした教科書としました。
		学習指導要領の遵守	・学習指導要領の社会科の目標、各分野の目標・内容・内容の取扱いをふまえた適切な教材を選択した単元構成としました。
	公正性	・教材の選定、記述にあたっては、一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分に吟味、検証しました。	
	正確性	・検定基準に照らして正確な内容、表記・表現であることを検証しました。	
内容・系統性	発達の段階への配慮 (小・中・高連携)	・生徒の発達の段階を考慮した内容とし、小学校の学習の振り返り(第1編「私たちと歴史」など)や、地理・公民の学習との分野間連携に配慮しました。	
	配列・分量	・配列は、第1編「私たちと歴史」、第2編「古代までの日本と世界」、第3編「中世の日本と世界」、第4編「近世の日本と世界」、第5編「近代の日本と世界」第1章「日本の近代化」、第5編「近代の日本と世界」第2章「二度の世界大戦と日本」、第6編「現代の日本と世界」、「『歴史との対話』を未来に活かす」で構成し、119時間の授業時数で完結できるよう各編の内容を吟味しました。 ・教科書の中心となる本文ページは、見開き2ページを1授業時間と想定することを原則とし、①導入資料→②「学習課題」→③「見方・考え方」→④「学び合い」→⑤「確認・表現」を基本構造とし、この流れをくり返し学習することによって、基礎・基本の確かな定着と思考力、判断力、表現力を育成することができるよう構成しました。	
	主体的・対話的で深い学びの実現	・第2～5編第2章までの各編の一つずつ、資料をもとに生徒が歴史について自分で考えたり、対話をしたりして、歴史を学ぶ面白さを体験できる「チャレンジ歴史」を設置しました。編(章)末には、各時代の特色をとらえるための具体的な活動事例を提示しました。 ・話し合いなど、対話的な活動を行う箇所に「学び合い」マークを付しました。 ・4人の生徒と2人の先生が登場し、疑問や感想、提案等の発言を通して、学習者である生徒が同じ目線で感じたり、疑問をもったりできるように工夫しました。	
	社会に開かれた教育課程やカリキュラム・マネジメントの実現	・「でかけよう! 地域調べ」「地域に学ぶ」などの特設ページ・コラムを各所に設置し、社会とのつながりについて関心・意欲をもって学習できるよう工夫しています。 ・他教科との関連では、道徳科の教育目標に基づき、命の尊さや伝統・文化などをテーマに据えたコラム「先人に学ぶ」などを設置して、内容の充実を図りました。	
	重点課題	現代的・社会的課題への対応	・第6編第3節「グローバル化と日本の課題」において、人権、環境、平和、防災・減災などの課題を取り上げ、社会の持続可能な発展に向けて、生徒が自分の考えをもって学習に取り組めるよう配慮しました。
伝統文化の尊重と国際理解		・日本の伝統と文化を理解し、我が国や郷土を愛する心情を育むとともに、多文化共生社会に向けて、国際社会の平和と発展に寄与する態度が養えるよう配慮しました。	
社会の持続可能な発展		・「『歴史との対話』を未来に活かす」「先人に学ぶ」などの特設ページ・コラムを設置し、現代の課題の背景や人権、環境、平和、防災・減災への先人たちの取り組みを学び、解決の手立てについて、生徒が歴史をふまえて考えることができるように工夫しました。	
その他	家庭学習への配慮	・予習や復習にも使えるように、本文ページでは「学習課題」「確認・表現」を設けています。 ・教科書QRコンテンツ「確認小テスト」は、答え合わせや誤答した問題の振り返りが生徒自身で行え、家庭での予習・復習にも活用できるようにしています。	
	地域・社会への関心	・「でかけよう! 地域調べ」「地域に学ぶ」などの特設ページ・コラムを設置し、身近な地域の歴史に対する興味・関心を高められるように工夫しました。また、第1編第2節「身近な地域の歴史の探究」では、調べ方・学び方・発表の仕方の基礎・基本を丁寧に解説しました。	
	デジタル教材の活用	・紙面上の二次元コードから弊社Webサイトにアクセスすることで利用できる「教科書QRコンテンツ」として、節の学習内容のポイントを示す動画「イントロダクションムービー」、本文ページの1見開きごとの基礎的・基本的な知識の定着を確認できる「確認小テスト」、編(章)の問いや節の問いを構造的に記入していける「ポートフォリオ」などを用意しており、ICTを活用した授業の幅を広げ、生徒の個別最適な学習に対応できるようにしています。また、学習者用デジタル教科書の発行を予定しています。	
	特別支援教育・ユニバーサルデザインへの配慮	・教科書全体を通して視認性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、振り仮名には判読しやすいゴシック体を使用しています。また、グラフ・地図等の図版は、色覚に特性のある生徒も読み取りが可能になるようにCUDに配慮した配色や処理を施しています。	
	判型	・AB判を採用し、写真等の図版を大きく示して、生徒の興味・関心を高めやすくし、広くなる左右のスペースにグラフや各種資料を掲載して本文内容の補完の充実を図りました。	
	印刷・製本	・印刷は植物油インキを使用、本文用紙も再生紙を使用して環境に配慮しました。 ・十分な強度をもち、軽くて裏写りが少ない用紙を使用して、教科書の軽量化を図りました。 ・製本は、堅牢なあじろ綴じを採用し、開きやすくしました。	

2. 学習指導要領との対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
歴史を学ぶにあたって ※「教科書の構成と学び方」を含む	A～C	巻頭1～2	1
第1編 私たちと歴史	A	P.6～17	5
1 歴史のとらえ方	A (1)	P.8～11	(5)
2 身近な地域の歴史の探究	A (2)	P.12～17	※
第2編 古代までの日本と世界	B (1)	P.18～63	19
学習のはじめに	B (1)	P.18～21	(1)
1 人類の始まりと文明	B (1)	P.22～31	(5)
2 日本列島の人々と国家の形成 ※チャレンジ歴史を含む	B (1)	P.32～45	(7)
3 古代国家の展開	B (1)	P.46～61	(5)
まとめとふり返し	B (1)	P.62～63	(1)
第3編 中世の日本と世界	B (2)	P.64～103	15
学習のはじめに	B (2)	P.64～67	(1)
1 古代から中世へ	B (2)	P.68～71	(2)
2 鎌倉幕府の成立 ※チャレンジ歴史を含む	B (2)	P.72～85	(5)
3 室町幕府と下剋上	B (2)	P.86～101	(6)
まとめとふり返し	B (2)	P.102～103	(1)
第4編 近世の日本と世界	B (3)	P.104～153	20
学習のはじめに	B (3)	P.104～107	(1)
1 中世から近世へ	B (3)	P.108～121	(6)
2 江戸幕府の成立と東アジア	B (3)	P.122～133	(5)
3 社会の変化と幕府政治の改革 ※チャレンジ歴史を含む	B (3)	P.134～151	(7)
まとめとふり返し	B (3)	P.152～153	(1)
第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代化	C (1)	P.154～213	25
学習のはじめに	C (1)	P.154～157	(1)
1 欧米の発展とアジアの植民地化	C (1)	P.158～167	(5)
2 近世から近代へ	C (1)	P.168～175	(3)
3 近代国家へのあゆみ	C (1)	P.176～189	(5)
4 立憲制国家の成立	C (1)	P.190～195	(3)
5 日清・日露の戦争と東アジアの動き	C (1)	P.196～203	(4)
6 近代の日本の社会と文化 ※チャレンジ歴史を含む	C (1)	P.204～211	(3)
まとめとふり返し	C (1)	P.212～213	(1)
第5編 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本	C (1)	P.214～257	18
学習のはじめに	C (1)	P.214～217	(1)
1 第一次世界大戦と戦後の世界	C (1)	P.218～225	(4)
2 大正デモクラシーの時代	C (1)	P.226～235	(3)
3 世界恐慌と日本	C (1)	P.236～243	(4)
4 第二次世界大戦と日本 ※チャレンジ歴史を含む	C (1)	P.244～255	(5)
まとめとふり返し	C (1)	P.256～257	(1)
第6編 現代の日本と世界	C (2)	P.258～291	14
学習のはじめに	C (2)	P.258～261	(1)
1 平和と民主化	C (2)	P.262～271	(5)
2 冷戦下の世界と経済大国化する日本	C (2)	P.272～279	(4)
3 グローバル化と日本の課題	C (2)	P.280～289	(3)
まとめとふり返し	C (2)	P.290～291	(1)
「歴史との対話」を未来に活かす	C (2)	P.292～299	2
	(※予備時間：16時間)	合計	119

※「チャレンジ歴史」には、1時間を配当しています。

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

※第1編第2節と第2～6編に設定した「でかけよう！ 地域調べ」（6時間配当）は、この予備時間を利用して実施することを想定しています。